

# まちの目記帳



## 今年で20回!!

### きさらぎ会「おさらい会」華やかに

3/18

きさらぎ会（河岸栄子代表）「おさらい会」が総合文化センターを会場に開催されました。

今年で20回目を迎える「おさらい会」は、地域の皆さんにもすっかりお馴染みとなり、毎年多くの方が心待ちにされています。

河岸代表は、「多くの皆様のご協力により20回目を迎えることができました。心より感謝しています。」とあいさつされ、色鮮やかな着物姿で大正琴の演奏や日本舞踊を18曲披露。一幕ごとに大きな拍手が送られ、多くの来場者を楽しませていました。



## 安心・安全にできる介助方法を紹介 ～やさしい介護教室～

3/24

介護に関する知識と技術を習得することを目的に、町地域包括支援センターが主催する「やさしい介護教室」が総合文化センターで行われました。

札幌すがた医院の作業療法士岩永輝明さんを講師に招いて、車の乗り降りやベットからの起き上がりなど、介助方法についての実技を交えた講義が行われ、在宅で介護をされている方や介護に関心のある方など20人が参加。介助する側、される側の立場を体験し、互いによりよい介助方法を知り、真剣に聞き入りながらも和やかな雰囲気を取り組む姿が見られました。



## トレーニングで心地よい汗！ 「健康運動実践講座」開催

3/29

生活習慣病予防のための基礎知識や技術を実践的に学習し、健康意識を高めてもらおうと、積丹町体育協会（川井順應会長）が主催する「健康運動実践講座」がB&G海洋センターで開催されました。

20人が参加して行われた講座では、健康運動指導士迫田祐司さん（札幌市）を講師に、太るメカニズムや減量に効果的なトレーニング方法など、講師自身の体験を含めながらの分かりやすい講義や実践が行われ、参加者は心地よい汗を流していました。



## みんな仲良く！～集団生活～ びくに・みなと保育所入所式

4/2

4/3

びくに保育所の入所式が2日に、みなと保育所で3日に行われ、それぞれ22人と4人の園児の新たな保育所生活が始まりました。

お母さんに付き添われて元気に登園した園児。式では、天満保育所長のお話や先生の紹介に続き、園児一人ひとりが紹介され、初めは緊張気味の子どもたちも、自分の名前が呼ばれると大きな声で「ハイッ」と応えていました。

出席されたお母さんは、我が子の成長ぶりに顔をほころばせていました。



▲びくに保育所



みなと保育所▶

## 再会を喜び思い出話に花 ふるさと応援隊－札幌しゃこたん会総会－

4/6

札幌市とその近郊に居住している積丹町出身者で構成する札幌しゃこたん会（大沢哲会長：会員101人）の総会が札幌市内のホテルで開催され、会員47人と地元から7人の来賓が出席しました。

大沢会長のあいさつに引き続き、松井町長が日頃のまちづくりに対する協力やふるさと納税寄付金に対し謝辞を述べ、町の財政状況や近況を報告しました。

また、山本俊三町ふるさと振興協議会長の乾杯で始まった交流会では、歌も飛び出すなど、久しぶりの再会を喜び、ふるさとの思い出話に花を咲かせていました。



## 無事故を祈って 水中展望船「安全祈願祭」

～4月14日から運航～

4/12

本格的な観光シーズンを迎え、(株)積丹観光振興公社（杉山覚社長）が運航する水中展望船「ニューしゃこたん号」の安全祈願祭が役員や関係者など21人の参列の下、執り行われ、シーズン中の無事故を祈りました。

昨年は、東日本大震災の影響が心配されたものの、利用者数は3万5,238人と過去最多であった一昨年に次ぐ実績となりました。

杉山社長は、「安全運航に心がけ、町内の観光業の皆さんと連携を密にしながら、積丹観光の振興に役立ちたい。」とあいさつされました。

- ◆運航時間 午前8時30分から午後4時30分の不定期運航
- ◆運航期間 10月下旬まで（予定）

